

講義名	教育相談【教職に関する科目】		
科目区分	教職に関する科目		
担当教員	岩崎 久志		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 5時限	授業形態	
	2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツマネジメントコース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2019年度 人間社会学部 人間健康学科/2019年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2019年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2019年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要			
教育相談の理論と方法について学んだ上で、子どもの発達、心理的問題の理解、対応を取り扱います。近年、学校現場で関心を集めている発達障害、特別支援教育やいじめの問題、子どもの暴力の理解とその対応を中心に取り上げます。			

到達目標			
教育相談活動は、子どもの教育上の問題について、子ども本人や、保護者、教師に助言、指導をしていく活動です。この授業では、教育相談の理論や方法に習熟すること、子どもの心理的問題、発達上の問題や、いじめ、学級崩壊など教育現場における問題について習熟することを目標とします。			

提出課題			
その都度支持する。			

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック			
課題を提出してもらった直後の授業において、講評および質疑応答を実施する。			

評価の基準			
(a) 毎回の講義で課題を出す。 (b) レポート。 それぞれが成績に占める比率は (a) 30%、(b) 70%とする (予定)。			

履修にあたっての注意・助言他			
教員を目指す者としての自覚と積極的な意識を持って、講義を受けて下さい。			

教科書
.なし..

プリント資料及び参考文献
プリント資料は都度配布する。 参考書・参考資料等 ・文部科学省「生徒指導提要」教育図書 2011年 なお、同書の内容は、文部科学省「生徒指導提要について」 (http://www.mext.go.jp/b_menu/houdou/22/04/1294538.htm) からダウンロードできる。

授業計画	
第1回：教育相談の理論と方法 第2回：カウンセリングの諸技法1ー東談者中心アプローチ 第3回：カウンセリングの諸技法2ー傾聴・受容・共感ー 第4回：カウンセリングの諸技法3ーカウンセリングとアセスメントー 第5回：発達障害の問題1ー学習障害ー ベクトラム障害 第7回：特別支援教育の在り方について 第8回：不登校の問題 第9回：いじめの問題1 第10回：いじめの問題2ーいじめを撲滅する学級運営ー 第11回：指導と体罰をめぐる問題 第12回：虐待の問題 第13回：子どもの暴力ー学校場面における暴力的な子どもへの対応ー 第14回：授業崩壊の問題 携について 定期試験は実施しない	第6回：発達障害の問題2ーADHD・自閉性ス 第15回：地域の専門機関、他職種との連

授業形態（アクティブ・ラーニング）	
ア：PBL（課題解決型学習）	
イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート	
エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション	
カ：実習、フィールドワーク	

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間	
予習としては、毎回提示する次回授業で取り上げる内容予告を参考にして、現代社会における教育問題との関連を想像しながら、教育相談のあり方について意識を持って授業に参加するよう心掛けることを望む(約2時間)。 復習は、授業内容を自分なりに整理し、配布資料や授業にて紹介する文献等も参考にしつつ、知識を習得するべく努めてもらいたい。また、疑問点やわからないことがあれば、速慮なく質問をしてほしい。不可解なことを積み残しにしないで、順次解決しながら知識を増やしていく喜びを味わってほしいと思ってる(約2時間)。	

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述	
双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 遠隔授業（「課題学修型」および「同時双方向型」）で行います。スマートフォン、PC、タブレット等を準備してください。教材はパワーポイント、PDF等でRyukaPortalにアップロードします。アプリとしてはSkype for Business、Responを設定してください。また学内アドレス、パスワードを確認しておいてください。	

実務経験の有無及び活用	
備考	
質問は随時受け付ける。	